

# いしかり市民カレッジ運営事業

## 自治体情報 北海道石狩市

人口 / 60,878人 標準財政規模 / 16,253百万円

**担当課** 石狩市教育委員会生涯学習部社会教育課

**電話番号** 直通 0133-72-3173

**実施主体** いしかり市民カレッジ運営委員会

**関連ホームページ** <http://www.ishikari-c-college.com/>

**事業期間** 平成21年度から

**関係施策分類** ⑦ーウ

## 予算関連データ

総事業費：1,252千円（H22）

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	150
受講料収入	運営委員会	844
年会費	運営委員会	203
広告収入等	運営委員会	55

## 施策のポイント

これまで行政が提供してきた生涯学習の場を、事業予算も含めて市民が自らのアイデアで作り出し、継続的に運営できる体制に移行したこと。

## 施策の概要

### 1. 取組に至る背景・目的

H16年に公民館が実施する講座の企画に市民の参加を募ったことをきっかけに、徐々に市民が主体性を発揮しながら拡大・発展し、H21年に市民協働型の生涯学習システムとしてスタートした。生涯学習の推進に携わってきた市民との協働を進め、多様な学習ニーズに対応した学習機会を提供することで、市民の生きがいづくりを促進するとともに、学びによって高められた市民力が地域づくりに生かされることを目的とする。

### 2. 取組の具体的内容

①主催講座の企画・運営 ②一般市民が自らの経験を生かした公募型「まちの先生企画講座」開催の実施  
③市内で講座を開催する組織・団体等との連携 ④主催、連携講座をまとめた情報紙の発行 ⑤HP上での実施講座の詳細な報告 ⑥カレッジ生に対し、受講の証を記す手帳の配布及び講座受講数に応じた修了証の授与 ⑦学園祭の開催 ⑧その他いしかり市民カレッジの運営全般

運営委員会は、22人のボランティアスタッフが講座の企画・実施をするグループと、カレッジの総務・広報を受け持つ2つのグループに分かれ、それぞれ月2回の会議を行い、議事を進行している。会議には担当職員が参加して、市民カレッジをサポートしている。

### 3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

より市民ニーズに即した講座の開催を期待するとともに、これまで公民館が実施していた講座の数や参加者数の数値が目標になった。

### 4. 現在までの実績・成果

H22年度の主催講座開催数は16テーマ48回述べ受講者1,736人、まちの先生企画講座4テーマ10回述べ受講者280人。これらの数値は、目標を大きく超える数値となった。

72ある連携団体の講座数は60テーマ723回。これら他団体が実施する講座情報を取りまとめることにより、これまで個々に行われていた市内各種講座の全貌を把握できるようにもなった。

### 5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

市の予算に関係なく、実施したい講座ができるように年会費と受講料を設定して採算がとれようにしたため、講座数が増えたにも関わらず、現在市が負担している費用は、消耗品の一部のみとなった。

### 6. 今後の課題と展開

受講層を広げるためのより多彩なジャンルの講座や、魅力的で新鮮な講座を実施できるよう、運営するボランティアスタッフへ加わる市民を増やしていくこと。